

7月3日（水）半夏生

きのう 昨日、7月2日は、一年間を72こに分けた
きせつ 季節の、はんげしょう 半夏生でした。

6月22日が、げし 夏至でした。夏至は、一年で
もっとも たいよう 太陽が 高く 昇り、ひる 昼が 一番 長い 日 だ
す。その げし 夏至の 日 から 数えて 11日目が
「はんげしょう 半夏生」です。

「はんげしょう 半夏生」とは、はんげ 半夏が はな 花を 咲かせる という 意味 なのだ ぞ
う です。では、はんげ 半夏 って 何 でしょう。こうちようせんせい 校長先生 も よく
わ 分かり ません でした。はんげ 半夏 とは、カラスビシャク という 花 を
かんじ 漢字 で 書いた なまえ 名前 なのです。

カラスビシャク という 花、見た こと ありますか。この 花 は、
とても めずらしい 形 で、「やく た 役に 立たない」という 意味 で、カラス
の 柄杓 (ひしゃく)、カラスビシャク という なまえ 名前 になった とい
う 話 があります。

この カラスビシャク の 花 が 咲く のが、いま 今の 時期。この 植物
は、くすり 薬 にも なる よう です。どこ か で 見 つけ られる と いい だす
ね。おうぎしょうがっこう 扇 小学校 にも、咲 いて いる の であらう でしょうか。

村越 新

